

新規事業採択時評価結果（平成29年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：川崎 茂信

事業の概要

事業名	一般国道357号 湾岸千葉地区改良（蘇我地区）	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局
起終点	自：千葉県千葉市中央区塩田町 至：千葉県千葉市中央区間屋町	延長	5.0km		
<p>事業概要</p> <p>国道357号は、東京湾に面する千葉・東京・神奈川の各都市を結び、交通混雑緩和や湾岸地域の物流の効率化等を図ることを目的とした全長約75kmの幹線道路である。千葉地区においては、地域高規格道路である千葉中環状道路の一翼を形成し、千葉都市圏の環状道路計画の一端を担う重要路線となっている。</p> <p>このうち、湾岸千葉地区改良（蘇我地区）は、H28年度に全線開通した湾岸千葉地区改良区間と千葉市が事業中の都市計画道路塩田町菅田町線を結ぶ延長約5.0kmの事業である。</p>					
<p>事業の目的、必要性</p> <p>湾岸千葉地区の慢性的な渋滞ボトルネックを解消し、首都圏へのエネルギー供給や完成自動車輸送等の物流の円滑性確保を目指すとともに、年間2000万人規模が来訪する蘇我副都心の大型商業施設・スポーツ施設群へのアクセス性向上により多様な都市機能の集積・魅力ある拠点形成を支援。</p>					
全体事業費	約265億円	計画交通量	約59,100～78,900台/日		
<p>事業概要図</p>					

関係する地方公共団体等の意見

【千葉市長】

- ・予算化について同意する。
- ・当該区間に隣接する湾岸千葉地区改良区間が全線開通したことによる整備効果が実感されているところだが、整備効果を最大限発揮させるためにも、延伸区間となる当該区間の渋滞対策は、喫緊の課題であり、平成29年度新規事業化と事業の実施にあたってはコスト削減を図りながら早期完成に向けて特段のご配慮をお願いしたい。

学識経験者等の第三者委員会の意見

- ・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件

- ・費用対便益：便益が費用を上回っている。
- ・手続きの完了：都市計画決定手続き完了（S44.5）

事業評価結果

費用便益分析	B/C	2.0	総費用：189億円 （事業費：180億円 維持管理費：9.6億円）	総便益：373億円 （走行時間短縮便益：334億円 走行経費減少便益：30億円 交通事故減少便益：8.1億円）	基準年：平成28年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.8（交通量 -10%）	B/C=2.2（交通量 +10%）	
		事業費変動	B/C=1.8（事業費 +10%）	B/C=2.2（事業費 -10%）	
	事業期間変動	B/C=1.7（事業期間 +20%）	B/C=2.0（事業期間 -20%）		
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・車線幅幅（4車線⇒6車線）し、交通容量の増加・旅行速度向上により、主要渋滞ポイントが解消。 【主要渋滞ポイント（5箇所）の解消】 混雑時旅行速度 現況：20km/h → 整備後：60km/h 	
		事故対策	○	<ul style="list-style-type: none"> ・中央分離帯の設置により、死傷事故率が約1割低減。 【死傷事故率の低減】 死傷事故率 現況：64.4件/億台km → 整備後：57.6件/億台km 	
	歩行空間	○	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車専用レーンの設置により、歩行者導線との分離による歩行者の安全性向上に寄与。 		
	社会全体への影響	住民生活	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉都市計画※に位置付けられた千葉市蘇我スポーツ公園への主要なアクセス道路であり、大規模スポーツイベント等を支援。 ※千葉都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（H28.2） 	
		地域経済	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・物流の定時性の確保により、千葉港（国際拠点港湾）の石油精製企業群から、首都圏への安定的なエネルギー供給に寄与。 ・円滑な物流の確保により、千葉港（国際拠点港湾）に陸揚げされた完成自動車の新車整備工場への物流輸送の速達性向上に寄与。 【所要時間の短縮：千葉港モータープール⇒新車整備工場（茂原）】 現況：約46分 → 整備後：約37分（約9分の短縮） 	
		災害	—	・注目すべき影響はない。	
環境		—	・注目すべき影響はない。		
地域社会	○	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉都市計画※に位置付けられた蘇我副都心へのアクセス性が向上し、大型商業施設群来訪者の利便性向上と沿線地域住民の生活環境が改善。 ※千葉都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（H28.2） 			
事業実施環境	○	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画決定手続き完了（S44.5） ・千葉県知事、千葉市長より湾岸千葉地区改良（蘇我地区）の早期事業化を要望。 			

採択の理由

費用便益比が2.0と便益が費用を上回っているとともに、都市計画決定が完了し、事業採択の前提条件が確認できる。

また、当該区間の渋滞緩和や地域経済等への効果が期待でき、事業の必要性・効果は高いと判断できる。

以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。